

学校だより あしたか

富士市立吉永第二小学校 令和8年3月3日 臨時号



令和7年度「後期学校アンケート」へのご協力、ありがとうございました

全校児童や保護者、教員に行った後期の学校評価アンケートの結果について、御報告します。学校評価アンケートは、児童・保護者・教員の三者から学校の教育活動を振り返り、今後の学校づくりに生かしていくことを目的としています。

本校では、学校経営目標「子どもの笑顔があふれる学校づくり～家庭・地域との連携～」の下、前期に引き続き後期も教育活動に取り組んでまいりました。前期アンケート結果を基に、職員一同で授業の工夫や子どもたちみんなが笑顔になれる活動、方法等を考え取り組んできたことや保護者様、地域の皆様の御支援により学校評価が上がってきています。

みんなが笑顔になれる学校を目指して

【表の数値…前期の数値→後期の数値】

項目	児童(%)	保護者(%)	教員(%)
①自分のことも友達のこと大切にしながら生活している。	96.9→100	98.2→94.9	100→100
②何事にも粘り強く繰り返し取り組んでいる。	89.2→92.5	77.2→83.1	100→88.9
③学校は楽しい。	96.9→97.0	100→98.3	100→100
④自分のよさが分かっている。	80.0→96.7	94.7→89.8	100→100

項目①②③④の子どもの評価に伸びが見られました。

特に④「自分のよさが分かっている。」の評価が大きく伸びました。後期には、富士山こどもの国へ全校遠足を実施しました。子どもたちで、6年生を中心に活動内容や決まりを考え「自分たちで遠足をつくる」という姿勢で取り組んだことで大きな達成感を味わいました。普段の学校生活においても、低学年から高学年まで、それぞれが自分たちで考えて行動することが、学校は楽しいと思える気持ちにつながっていると考えられます。

今年度の重点目標は「挑戦しよう 失敗は成功のはじまり」です。挑戦には失敗はつきものです。学校では、授業をはじめとする学校教育活動において、失敗を寛容に受け止め、やり直す機会を設けたり、その姿を認めたりすること、困難さを一緒に乗り越えようとするを大切にしています。そういった中で子どもたちが伸び伸びと活動し、粘り強く繰り返しものごとに取り組むことができるようになってきたことが、自己肯定感の高まりにつながったと考えられます。

また、自己肯定感が高まるためには、自分が大切にされているという思いをもてることも大切です。家庭や地域で大切に见守られている子どもたちだからこそ、自分のことも友達のこと大切にできています。

今後も、子どもたちが笑顔でいられる学校を目指して、楽しく、充実した教育活動を展開していきます。

「学んで楽しい」を大切に

【表の数値…前期の数値→後期の数値】

項目	児童(%)	保護者(%)	教員(%)
⑬授業でやっている内容が分かっている。	93.8→97.0	93.0→86.4	100→100
⑭友だちと一緒に学ぶことは楽しい。	98.5→100	100→96.6	100→100
⑰1週間に1時間以上、読書をしている。 (朝読書3日分の45分を含む)	64.6→74.6	36.8→54.2	80.0→100

⑬「授業でやっている内容が分かっている」の児童の評価が上昇しました。授業においては子どものつまづきを把握し、その子に合った支援方法を工夫しています。また、文章を読むこと、日常生活の中で使える漢字を増やすこと、基礎的な計算問題等に継続的に取り組むことで、基礎的・基本的な内容の定着を意識してきました。

授業の中で、子どもの「分かった」という思いが積み重なったことが、学習内容の理解につながったと思われます。

今後は、基礎的・基本的な内容の着実な定着を図りながら、体験的な学びも大切にし、子どもたちの「学んで楽しい」「分かったよ」を一步前進させて「分かったことが、身に付いたよ」と子ども自身が実感できるように、より一層授業改善に取り組んでいきます。

⑭「友だちと一緒に学ぶことは楽しい」は、児童の評価が100%となりました。友達と学ぶことが、学習意欲や内容理解の支えとなっています。

前期に課題として挙がっていた読書についても、変化が見られました。

⑰「週に1時間以上読書をしている」では、児童・保護者・教員のすべてで評価が上昇しています。特に保護者の評価は大きく伸びました。このことから、家庭における読書への関心の高まりがうかがえます。

読書月間には、図書委員による読み聞かせを行いました。また、読書カードに読んだ本のページ数や感想を記録したり、家庭学習として読書を行ったりもしたことで、少しずつではありますが、読書に親しむ姿が増えてきました。

読書は、心を豊かにするとともに読解力を伸ばすので、今後も学校と家庭で連携して、児童の読書活動の充実に努めていきたいと思えます。

安心・安全な学校づくり

【表の数値…前期の数値→後期の数値】

項目	児童(%)	保護者(%)	教員(%)
⑫地域の人やボランティアさんと一緒に勉強したり清掃したりすることはうれしい。	93.8→98.5	100→96.6	100→100
⑳「あたたかい聴き方・優しい話し方」をしている。	95.4→97.0	71.9→76.3	90.0→88.9
㉑自分から挨拶をしている。	95.4→98.5	84.2→89.8	100→77.8
㉓学校で安心して過ごしている。	98.5→97.0	100→94.9	100→100
㉔困ったときに、相談できる人がいる。 (家族・先生・友達など)	96.9→95.5	98.2→93.2	100→100

⑳「あたたかい聴き方・優しい話し方をしている」㉑「自分からあいさつをしている」についても評価に伸びが見られました。

学校だけでなく、家庭や地域において、子どもたちはあたたかな人間関係に支えられているからこそ、穏やかに生活し、自分から挨拶することができています。

㉓「学校で安心して過ごしている」㉔「困ったときに、相談できる人がいる」では、評価は高いのですが、一部不安や心配を抱えている子どももいることが分かります。みんなが安心して過ごせるように、心のアンケートを基に、教育相談を年3回実施しています。その中で子どもたちの話を丁寧に聴くことで、子どもたちへのきめ細やかな指導ができるようにしていきます。また、担任だけでなく教職員みんなで子どもの様子をより丁寧に見取り、こまめな声掛けや相談しやすい関係づくりに取り組んでいきます。さらに、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーとも必要に応じて連携し、安心・安全な学校をめざしていきます。

⑫「地域の人やボランティアさんと一緒に勉強したり清掃したりすることはうれしい」の評価も伸びが見られました。これは、清掃や学習、ボランティアなど地域の方々に学校の教育活動の様々な場面で温かく関わっていただいているからです。今後は子どもの「もっと地域の方々と交流をしたい」という思いを大切に、クラブ活動に地域の方々に参加してもらったり、共に楽しむ活動を計画したりしていきたいと考えています。

引き続き、御支援をよろしくお願ひします。